

第10回

浪曲口演会松江虹公演

松江市文化協会加盟団体助成事業
第二十九回松江市民文化祭参加事業

浪曲界期待の星

国本はる乃

落語と津軽三味線

林家ひろ水

曲師 広沢美舟



©御堂義乗



前座：浪曲講座と古典浪曲

愛好会会長：安部重利

伴奏：早川 求

◆主催：iPad浪曲愛好会松江

◆共催：松江市・松江市文化協会

◆後援

- ・島根県社会福祉協議会
- ・松江市教育委員会
- ・松江市ボランティア連絡協議会
- ・山陰中央新報社
- ・TSKさんいん中央テレビ
- ・日本海テレビ
- ・BSS山陰放送

◆チケット販売所

- ・島根県民会館チケットコーナー
- ・松江テルサ2F事務局
- ・タカキ楽器店
- ・さんびる文化センタープラバホール
- ・出雲市民会館
- ・安来市総合文化ホールアルテピア
- ・米子市文化ホール
- ・米子市公会堂
- ・境港市交流センター「みなとテラス」

2025年11月16日(日) 開場 13:00
開演 13:30

島根県民会館中ホール

Tel 0852-22-5506

- ・2,000円(当日2,500円)
- ・高校生以下無料
- ・全席自由

◆お問い合わせ・安部重利 080-1641-6753

ホームページ：iPad浪曲愛好会松江 又は <http://ipadrouryoku-matsue.jimdo.com>

プログラム

- 前座 { 浪曲講座『浪曲のiPad伴奏と掛け声について』 } iPad浪曲愛好会松江
 { 古典浪曲『石松と身受山鎌太郎』 } 会長 安部 重利
- 浪 曲 『将軍の母』 国本 はる乃 曲師：広沢美舟
- 仲入り
- 落語と津軽三味線演奏 林家 ひろ木
- 浪 曲 『子別れ峠』 国本 はる乃 曲師：広沢美舟

出演者プロフィール

■ 国本 はる乃

茨城県稲敷市出身。9歳で浪曲界の名伯楽“国本晴美”（国本武春の母）に入門。晴美師匠から『手が小さいから、歌から始めようか』と言われ、浪曲の台本を手渡された。半年後、成田山新勝寺奉納演芸会（千葉県成田市）で初舞台を踏み、才能の片鱗をのぞかせた。以降地元稲敷市や成田周辺で師匠やアマチュア落語家の父と共に舞台に立つ。

高校卒業前の平成25年「日本浪曲協会」へ入会。浅草・木馬亭での勉強会等で精力的に舞台に立ち芸を磨く。

平成28年師匠から一本立ちを促され、木馬亭にて名披露目興行を開催。

大盛況のなか「子別れ峠」（曲師沢村豊子）を唸る。伸びやかな声と確かな節、一声二節三啖呵といわれる本格浪曲を名披露目にふさわしく演じきった。

平成29年NHK FMの「浪曲十八番」に出演するなど、以降主要メディアに登場し浪曲界期待の「若手ホープ」としての存在を確かなものになっている。

■ 広沢 美舟

千葉県佐倉市出身。沢村豊子に師事。平成27年 国立演芸場で沢村豊子の浪曲三味線を聞きその音色に衝撃を受け虜になった。このため沢村豊子に近づく手はずとして日本浪曲協会の三味線教室に通い始め、一心の願いが許され一ヵ月後入門。平成28年10月、豊子師匠が手首を骨折され半年間休務されたがこの時、急遽 玉川奈々福の三味線をつとめた。急場の代役であったが好評を博した。

■ 林家 ひろ木

広島県庄原市出身。平成14年林家木久蔵（現・木久扇）に入門。

平成17年二ツ目昇進。平成29年3月真打に昇進。その際、日本テレビ『笑点』にて真打ち披露口上を行う。また、津軽三味線を太田家元九郎に師事。現在、澤田勝成に師事。特技は書道（4段）・珠算（1級）。落語に津軽三味線にと多方面で活躍中。